

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育心理学 (Educational Psychology)		
ナンバリングコード	K10103	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001401	クラス名	-
担当教員名	山本 義史		
履修上の注意、履修条件	教職必修科目です。履修条件は教職課程を履修していることです。授業を通して教職への適性を各自自己評価してください。 毎回授業の終了時に課題レポートを課します。欠席した学生は、課題を提出することができません。やむをない理由で欠席した学生は、次週にワークノートと課題をとりこきて、提出すること。		
教科書	「学習効果をあげる生活環境—学校と連携する家庭・地域—」(溪水社)山岸 治男(編著)		
参考文献及び指定図書	「教育心理学の探究」(ナカニシヤ出版)柳井修・林幹男・古城和子(編著)		
関連科目	心理学、発達心理学、青年心理学、社会心理学		

○基本情報			
授業の目的	本講義を通して、「こころの力」「社会人基礎力」「職業能力」「専門能力」の4つの力が結集した「人間力」の育成をベースに、教育における社会貢献や地域の活性化・福祉に必要な実践的な知識・技術を習得します。 教育とは人間関係に立脚した、影響を与え合う相互作用過程です。その影響は、相手の理解があって初めて効果を発揮します。教育心理学は教育現象に関する心理を取り扱います。講義では、教職教養に必要な知識を解説するだけでなく、教育について絶えず問いかけていきます。		
授業の概要	ワークノートを利用した講義形式です。それをパワーポイントで解説していきます。教員採用試験科目でもありますから、教員採用試験受験予定の学生は積極的に取り組んでください。 毎回次週のワークノートを配付しますので、ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。授業終了時に課題が出ますから、毎回課題レポートを書いて提出します。提出方法は講義時に指示します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教員採用試験科目でもあるので、教員採用試験受験予定の学生は積極的に取り組んでください。さらに、教員になるふさわしい授業態度・社会常識を修得すること。		15点	
【知識・理解】	教員は知的な職業ですから、一般教養・専門的知識を修得すること。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	教育は人間関係でもあるので、教育技能に加えて、コミュニケーション能力・学習板知識を表現・説明する能力を修得すること。		15点	
【思考・判断・創造】	教育には創造性が求められるので、思考・判断力を修得すること。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>期末試験70点満点と課題レポート30点満点で成績評価します。毎回の課題レポートは、題意に沿って教職志望者の視点から課題解決をめざします。創造的に解答してあれば、2点×15回=30点。関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現・コミュニケーション、思考・判断・創造の観点から総合的に評価します。課題レポートについては、次回以降の授業中に講評・解説または個別に、フィードバックを行います。</p> <p>2点……授業を理解し、題意についてよく探求し創造的・独創的な考えを表現している。</p> <p>1点……授業を季花一子、題意について探求して解答している。</p> <p>-2点……題意からはずれて適当に解答している。(注意)</p>	

○その他	
教職必修科目です。教職課程を履修していることが履修条件となります。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	教育心理学 (Educational Psychology)	授業コード	K001401
	担当教員	山本 義史		
学修内容				
1. 教育心理学について 教育心理学の授業の進め方について説明します。そして、教育と心理学との関係について考えてみます。そこで、教育における児童・生徒の発達の理解や学習過程理解の重要性について解説します。				
	予習	教育について考えてきます。		約2時間
	復習	教職課程志望動機について考えてみます。		約2時間
2. 発達の基礎について 発達とは受胎から死に至るまでの間、心身の機能が構造が量的にも質的にも変化していく過程です。そこには一定の法則性や原理が発見されてきました。発達の基礎について、発達の概念や原理および発達を支える要因について概説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	「学力」や「学業成績」における遺伝と環境の関係について考えてみます。		約2時間
3. 発達の理論について(1) 発達理論は、人の発達の要因や条件、発達のメカニズムに焦点を当てたものです。その代表的な発達の理論について、フロイトの精神分析理論について解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	今までに経験したことがある防衛機制があれば、その事例について考えてみます。		約2時間
4. 発達の理論について(2) エリクソンの心理社会的理論について解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	あなたのアイデンティティは具体的にどのような内容かについて考えてみます。		約2時間
5. 発達の理論について(3) バンデュエラの社会的学習理論について解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	発達段階を考慮することの意義(意味)について考えてみます。		約2時間
6. 胎生期・幼児期・児童期の発達について 胎生期・乳児期の特徴について解説します。人の一生は受精によって始まり、母親の胎内で約40週間経過後、誕生を迎えます。この期間を胎生期といいます。そして、1歳までを乳児期といいます。自我の形成の基礎や愛着行動が獲得される時期です。7歳から11・12歳までを児童期といいます。社会性・知性の発達が著しい時期です。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	胎児や乳幼児・児童について学習しておくことの積極的意味について考えてみます。		約2時間
7. 思考の発達について ピアジェの認知・思考の発達について解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	形式的思考の段階に達していない生徒に対して教育的配慮や工夫について考えてみます。		約2時間
8. 学習について(1) まず、学習心理学領域の見通しを与えるために、教職課程で必要とされる学習領域を概観します。学習の基礎について、学習の定義・理論について解説します。今回は、学習の原理である古典的条件づけについて解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	私たちに備わった学習能力を踏まえて、学習することの意味について考えてみます。		約2時間

○授業計画	科目名	教育心理学 (Educational Psychology)	授業コード	K001401
	担当教員	山本 義史		
学修内容				
9. 学習について(2) 学習の原理である道具的条件づけ(オペラント条件づけ)について解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	「体罰がなくなる原因と体罰を防止する対策」について考えてみます。		約2時間
10. 学習を支える認知過程について(1) 学習を支える認知過程について、知能・記憶・思考・創造性の観点から解説します。また、学習指導を行うために、効率的で学習者に最適な教授—学習過程はどうあればよいのかについて考えます。今回は、知能について考えてみます。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	これからの社会を生き抜く能力及びその育成について考えてみます。		約2時間
11. 学習を支える認知過程について(2) 学習を支える認知過程について、知能・記憶・思考・創造性の観点から解説します。また、学習指導を行うために、効率的で学習者に最適な教授—学習過程はどうあればよいのかについて考えます。今回は、記憶について考えます。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	記憶の講義や実験を受けて、教育との関連を考えてみます。		約2時間
12. 学習を支える認知過程について(3) 学習を支える認知過程について、知能・記憶・思考・創造性の観点から解説します。また、学習指導を行うために、効率的で学習者に最適な教授—学習過程はどうあればよいのかについて考えます。今回は、教授—学習過程について考えます。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	あなたが考える「よい授業」とは何かについて考えてみます。		約2時間
13. 学習意欲(動機づけ)について 学習意欲について解説します。学習過程を動機づける達成動機や意欲、そしてそれ意欲に影響を与える原因帰属、自己原因性、自己効力感、自尊感情などについて解説します。さらにそれらと意欲との関係を解説します。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	教員になった場合、動機づけの考え方やその効果を活用した授業方法を考えてみます。		約2時間
14. 教育評価について(1) 教育評価について解説します。教育目標の達成度は、教育測定によってデータ化され、それらを目標に照らして価値づけ過程が教育評価です。今回は、教育評価の意義について考えます。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	教育評価の意義についてまとめます。		約2時間
15. 教育評価について(2) 教育評価について解説します。教育目標の達成度は、教育測定によってデータ化され、それらを目標に照らして価値づけ過程が教育評価です。今回は、教育評価の方法や最近の教育評価の状況などについて考えます。				
	予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。		約2時間
	復習	教育における評価の重要性について考えてみます。		約2時間
16. 期末試験				
	予習	期末試験に備えてワークノートを整理します。		
	復習	ありません。		